

校長室より

「天空高き」



第121号



令和元年5月7日

対面式—あいうえおの法則—

4月10日は本校の開校記念日です。

121周年になります。開校記念講演の前に、中・高の新入生と在校生が一堂に集まりました。

体育館で生徒会主催の対面式後、カウンセラーの東條芙美子先生より人間関係がスムーズになる「あいうえおの法則」を二人一組になって実践しました。

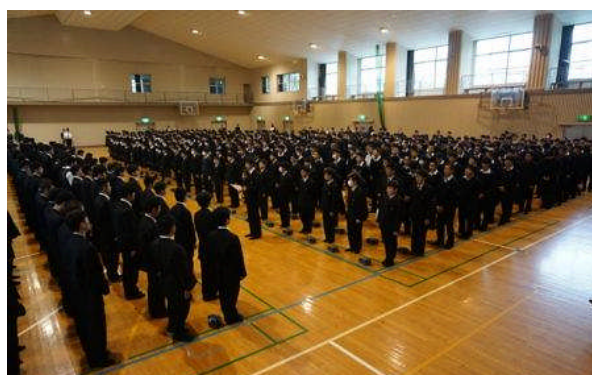
「あ」は「相づちを打つ」。同調することです。

「い」は、「アイコンタクト」お互いに目を合わせることです。

「う」は「うなづく」。共感することです。

「え」は「笑顔で」。

「お」は「オーム返し」。相手の言葉を繰り返すことで、関心を示します。



相手の話を聴くの「聴」という漢字には、耳と目と心が入っていることからわかるように、五感をフルに使い、心もこめて相手の話を聞くという意味が込められていると思います。

私たちは誰もが人から認められたいと思っています。ほめられて悪い気がする人はいないと思います。人は、「認められたい」「ほめられたい」「肯定されたい」「賛同されたい」「賛成されたい」としています。それはよくSNS上で、「いいね！」ボタンを押してもらうことからよくわかると思います。科学的にもほめられると脳内の線条体という部位の活動が活発化することが証明されています。

「傾聴・承認スキル」を、学校だけでなく、家族や周りの人にも生かし、素晴らしい人間関係を築いてください。

いまがその時、その時がいま。いつか大事なことが来るだろうと思うのは間違いで、常にいまこの瞬間がすべて。今この瞬間、目の前のことを真剣に取り組まない人には決してチャンスは訪れない。

外尾 悦郎（スペイン、バルセロナのサグラダ・ファミリア主任彫刻家）

5月の月間目標

5分前考動

平成31年度
チャレンジ目標

- 1 挨拶 先に明るく元気に
- 2 先を見据えた行動 5分前行動
・登下校のマナーに心掛ける
- 3 整理整頓
- 4 1%を誰かのために

今月の目標は「5分前考動」です。

敢えて、「行動」ではなく「考動」にしました。皆さんが行動を起こすときには、必ず考えて動くことが大事です。また、考えながら動くこともあるかもしれません。緊急の時には、先に行動して後で考える必要もあるでしょう。

ところで、新入生の皆さんは入学して約1カ月経過しました。昨年度は登下校中の自転車事故が残念なことに何件か発生しました。いつもより5分早く家を出るだけで心に余裕が生まれ、事故を起こす確率を低くすることができます。

何事も早目に考動することで、充実した1日にしましょう。

五常 一仁・義・礼・智・信一

皆さん五常という言葉を知っていますか。

儒教で人が常に守るべきものとする五つの道を行います。「仁、義、礼、智、信」の5つの道徳を行います。

道徳とは、人の心み行うべき道です。

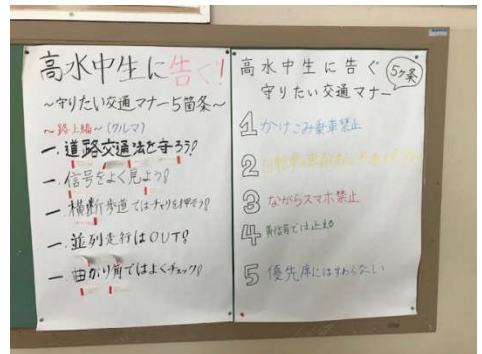
仁：思いやりの心

義：人として正しい行いを守ること

礼：社会の秩序を保つための生活規範

智：物事を理解し、是非・善悪を判断する能力

信：言行にうそ偽りが無いこと



皆さんの記憶にはあまり残っていないと思いますが、東北・関東地方を中心とする広い範囲で、2011(平成23)年3月11日午後2時46分、東北の三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の東日本大震災に見舞われました。東北地方から関東地方までの太平洋沿岸を大津波が襲い、多くの街があとかたもなく流され、戦後史上最大の死者・行方不明をだす大災害となりました。地震による被害は首都圏にまでおよび、大規模な停電が発生しました。電車はストップし、道路は大渋滞となって、数百万人が徒歩での帰宅を余儀なくされました。

この東日本大震災のニュースは、地震発生直後から世界中で報道され、各国が日本の惨状に驚愕しました。

震災から8年経過した今なお、復興にはたくさんの方が残っており、原発に関しても事態は全く収束していません。しかし、それ以上に各国が驚いたのは、大震災に

襲われ、未曾有の被害を受けながらも、秩序を失わず、冷静に行動する日本人の姿を目にしたことです。日本人として過去から培われていた伝統、文化により、高い精神性を発揮し世界中から称賛されました。

その後、広島市北部で発生した土砂災害（2014）や熊本地震（2016）でも、同様に人々は秩序を失わず、冷静に行動しました。

人が常を守るべきものとする五つの道（五常）が、古来より、日本では「無私」（私心のないこと）、「陰徳」（人に知られないように施す恩徳）、「報恩」（恩に報いること）などの教えとして、親から子へ伝え受け継がれてきたと思います。目には見えないその高度な精神性が「日本人の力」になっていることが、世界中から称賛されているのだと思います。グローバル化が進展し、世界中からいろんな人たちが日本で生活されています。私たちは、その日本人の力を誇りに感じ、その人たちを巻き込んで次の世代に伝えることが大事です。

2019 カナダ姉妹校(ポールケイン高校)研修プログラム

学年末考査を終えたばかりでしたが、3月14日に岩国錦帯橋空港から生徒8名とケイト先生がカナダアルバータ州の州都エドモントン近郊にあるポールケイン高校へ出発しました。今回で2回目です。

研修プログラム報告書を読みましたが、受け入れ先の校長先生をはじめとして、ポールケイン高校の先生方やホームステイ先の家族の方々が本当に親身になってお世話をして下さり、より素晴らしい短期交流会へと発展し派遣された生徒の皆さんは充実した異文化体験をしたようです。

この研修プログラムの目的は、英語の語学力の向上、日本とカナダの文化や伝統、歴史を学ぶことです

皆さんは、1家庭に1人です。誰にも頼らず、それぞれの家庭のルールに従い、必要なことを英語で伝えなければなりません。また、日本文化や伝統、歴史について聞かれることで、「いかに自分が日本のことを知らないか」を実感したと思います。また、カナダという国が移民国家であることを肌で感じたことでしょう。

皆さんにとって大事なことは、学校でもホームステイ先でも、何とか相手とコミュニケーションを取ろうとすることです。また、同世代のカナダの高校生が将来をいかに真剣に考えているか、直接彼らから刺激を受けることが何より大切です。この体験こそが将来にわたってかけがえのない財産になるとだと思います。



9月下旬には、もう一つの姉妹校であるオーストラリアのサザンクロス校の生徒8名と3名の先生が来校します。積極的にコミュニケーションを取りましょう。

コーヒーブレイク -0は自然数?-

今、数学の勉強を始めています。テキストは「大学一年生のための数学入門」奈佐原顕郎著（講談社）です。

このテキストの帯に、「必要に応じ、中学・高校の数学にさかのぼって説明。数学を専門としない学生にもわかりやすい!」という、単純な理由で購入しました。

テキスト1ページ目の最後の行です。

『次に、「数とは何か?」を考えよう。まず、「この世に1を無条件に受け入れよう。でなければ数学は始まらぬ。そして、「1を繰り返して足すことによって、新たな数を作ることができる」と約束しよう。そうやってできる数を自然数(natural number)と呼ぶ(定義)。それが、1、2、3・・・などの数だ。』

ここまでは、どうか理解できました。さらに続きます。

「2とは、 $1+1$ のことである(定義)。 $1+1=2$ という式は、計算の結果でなく、2という数の定義。」

ということは、3とは、 $1+1+1$ のことである。ということか?

どうかついていけそうです。

では、ここで皆さんに問題です。「0は自然数でない。なぜでしょう?」

解答はこのページの最下段に



24節気

立夏(りっか) 5月6日頃 春分と夏至のちょうど中間にあたります。

暦の上での夏の始まり。この日から立秋の前日までが夏季になります。新緑の季節で、九州では麦が穂を出し、北海道では馬鈴薯や豆の種まきが始まります。蛙が鳴き出すのもこの頃からです。

小満(しょうまん) 5月21日頃

陽気が良くなって、万物の成長する気が次第に長じて天地に満ち始めることから小満といわれています。ようやく暑さも加わり、麦の穂が育ち、山野の草木が実をつけ始めます。梅の実がなり、西日本では、走り梅雨がみられる頃。田植えの準備を始める頃でもありません。

出典「日本の行事・暦」

(解答) 自然数は「1を繰り返して足してできる数」と定義されました。しかし、0は何回1を足しても0になりません。だから0は自然数ではありません。

皆さん、これなら多少数学に興味もてませんか?